

## 第8章 東武野田線（東武アーバンパークライン）

### 第1節 梅郷～柏

梅郷(14:00)～運河(14:25)～江戸川台(15:15)～初石(15:45)～  
流山おおたかの森(16:10)～豊四季(16:35)～柏(17:55)

平成16年2月7日(土)、本日の第109回ウォーキングが本年のスタートとなった。東海大学病院に人間ドックフォローに行っていた関係で、昨年11月の続きの梅郷からの挑戦は14時少し前となった。この日は柏で清水公園行き13時38分電車に乗り梅郷に向かった。本日は朝から快晴で、14時頃一時曇り気味の天気になったものの終日天候に恵まれ、風もなく、穏やかな春の訪れを感じる一日となった。梅郷駅を出るや否やいきなり袋小路に直面する。しかし、流山、松戸方面の道路に出て、トラブルを回避した。今日は珍しく千葉県地図を忘れたため、野田線を左手にしながらのウォーキングとなった。



※梅郷駅、利根運河

野田聖華幼稚園、利根運河を通り、東京理科大学がある運河駅には14時45分に着く。聞くところによると、昔利根運河は野田醤油を運ぶのに利用されたとのこと。利根運河の橋を渡ると流山市であった。勢いある馬の目立つ下総流山駒形神社(15時前)で今年のウォーキングの安全を祈願する。運河駅からしばらく行くと、別れ道があり、どちらに行くか思案したが、線路のことを勘案して左折する。これが正解であった。踏切にぶつかることを意識していたが、結局セーフだった。江戸川台を15時15分、初石には15時45分到達。初石駅の手前に三井生命の研修センターがあった。初石駅は春日部以降の野田線駅の中では最も活気を感じた。松屋があった。狂牛病の関係で豚めしの看板があった。そういえば、代々木駅前の吉野家はカレー丼であった。今は、牛の他に鳥インフルエンザで大変な季節である。16時10分、つくば新線の工事が着々と進められて

いる場所を通過する。今はこの辺りは閑散としているが、いずれ新駅ができれば発展すると思われる。



※運河駅、利根運河

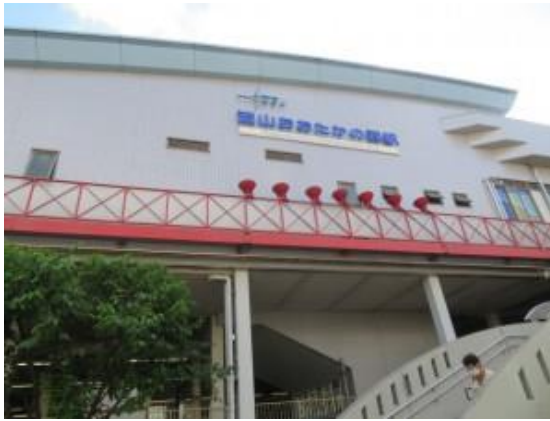


※江戸川台駅、駒形神社

豊四季駅には16時35分到着。この駅は、これまでの駅と比べ、駅看板が近代的になっていた。駅前の看板には、流山市と柏市の市内地図があった。その中で、野田線と新しくできるつくば新線が目立った。柏駅の途中、直進するか左折するか迷ったので、住宅看板をもった人に聞いた。直進でOKとのことで疑うことなく直進する。しかし、結果は南柏駅に向かうことになった。2.4Km遠回りとなった。柏駅には17時55分到着。久しぶりの歩きで疲れた。日暮里経由で家路に向かう。自宅には20時15分着。本日の成果は営業距離で12.0Km、万歩計は43,275歩だった。



※初石駅、つくばエクスプレス新線工事現場



※流山おおたかの森駅



※豊四季駅、柏駅

## 第2節 春日部～大宮

春日部(9:55)～八木崎～豊春～東岩槻～岩槻(11:55)～七里～大和田～大宮公園～北大宮～大宮(15:20)

野田線の第3弾目は、2004年3月13日(土)、春日部駅＝大宮駅間15.2Kmに挑戦。久しぶりのウォーキングで6時前に目が覚める。昨年来のウォーキング記(第三巻)を印刷し、電車の中で校正作業をする。その関係で大宮から春日部間の風景を観察することができなかった。10数年前、この沿線は会社の先輩のお通夜の関係で来たことがあり、春日部駅から大宮駅に向けて電車に乗ったことがある。



※春日部駅



※八木崎駅、豊春駅



※東岩槻駅、岩槻駅



※願正寺、曾根人形



※七里駅、大和田駅

春日部駅の西口には、9時55分に着いた。柏への挑戦の時は、東口であった。東武線の主要駅の割には、西口は簡易トイレで寂しく感じた。駅前から少し離れたところに、イトーヨーカドーがあった。本日は、ぼかぼか陽気でウォーキングには恵まれていた。概ね鉄道の左側を歩いた。川や丘が余りなく、平坦であったので歩きやすかった。ただし、鉄道と道路が並行していない箇所が結構あり、神経はそれなりに使った。春日部駅から大宮駅まで10駅が登場するが、八木崎駅を除き、運良くカメラに収めることができた。



※大宮公園駅、北大宮駅



※東武大宮駅、魚と（フコク時代の仲間と飲み会）

岩槻小学校（11時40分）を通り、麦わら屋根が印象的な願生寺を通り、岩槻駅には12時前に着く。駅前のサティ館の勝龍（中華料理）で昼食をとる。駅前には、五月人形、曾根人形、鈴木人形、人形の秀月といった看板が随所に見かけられた。聞くとところによると、この駅にはからくり時計があり1時間毎の時報に人形がお目見えするとのことである。久しぶりの歩きで15.2Kmの距離しかないのに疲れをいつもより感じた。大宮駅には15時20分到着。

今日は、小川名さんの送別会があり、小田急新宿駅改札口で待ち合わせをして、新宿西口にあるCNビルの「魚と」に移動し1次会を行なう。2次会はムーンでカラオケ。小川名さんから、人生をしみじみ歌うためには、「樫原さんの生き様が組み込まれている言い訳という内容のカラオケが、ぴったり合うので、覚えた方がよい。」との教を請う。残念ながらこの曲の正式なタイトルを失念する。自宅には23時45分着。万歩計は44,726歩だった。本日ももち、柏駅＝大宮駅42.9Kmが繋がった。

### 第3節 春日部～梅郷

春日部(9:40)～藤の牛島～南桜井～川間(12:35)～七光台～清水公園～  
愛宕(15:10)～野田市(15:25)～梅郷(16:25)

平成15年11月8日（土）小春日和の中、本日より関東で一番営業距離のある東武鉄道に挑戦することとした。まず、東武鉄道の心臓部に当たる春日部を起算点とすることとした、家を6時半に出、千代田線を利用して春日部には9時40分到着する。今日の大宮行きの電車は6両編成であった。

春日部に着くや否や複数の電車を見かけ、時代の流れを感じた。また、中央林間駅という駅名も印象的であった。野田線は平成2年頃、一度紫あやめコースでゴルフがあっ

たため、1度利用させてもらったことがある。その懐かしさもあり、野田線をトップバッターに選定した。当時、首都圏の鉄道に単線が存在することにびっくりした記憶が今でも印象的に残っている。春日部駅は、思った通り、伊勢崎線と野田線が合流しており、乗客の乗り降りの多い駅であった。東口で記念写真撮影後、本日の挑戦が始まった。



※藤の牛島駅、南桜井駅

住居地図を見て方向性が少し不安になり、念のため人の良さそうな年配男性の通行人に聞く。結果的には正しい方向に進んでいた。今まで何回か間違った方向に進もうとしたことは数回あった。その思いがあったためである。電車の窓と地図を見た限り、野田線に沿った道がなく、今日のコースは難しく感じられた。特に、七光台駅近郊と、川間駅と南桜井駅の間には江戸川が遮り、難しさに拍車をかけた。春日部駅から藤の牛島駅、南桜井駅までは、比較的順調に歩くことができた。藤の牛島駅で上り下りの電車が離している場面に出くわす。途中、上流の中川も渡る。川幅は15m位であった。多少疑問に感じたが、中川に注ぐ、1m50Cmのコンクリート用水路で釣りをする人もいた。南桜井駅から道なりに沿って歩くと、11時10分江戸川の埼玉県側土手にぶつかる。土手沿いを300m位歩いたところに金野井大橋があった。土手では小春日和の中、気持ちよさようにゴルフのよせの練習をする人の姿を見かけた。野田線とこの大橋との距離は1.5Km位ある感じであった。



※川間駅、七光台駅

江戸川を渡ると、千葉県野田市であった。聞くところによると、野田市は醤油の町と  
のことであった。運河の水路を利用し、醤油を輸送していたらしい。また、紫は醤油の  
愛称らしい。匂を迎えたキャベツ畑を久しぶりに見て懐かしく思えた。30 数年前の田  
舎を思い出す。西武台千葉高校の看板を見るや否や、高校生の下校の場面に遭遇。自分  
の方向が正しいことの確認ができた。12時35分、川間駅に到着。昼食時間であった  
ので、駅前の蕎麦屋に駆け込む。昼食後、電車の中で見た七光台の映像が頭に入ってお  
り、慎重にしすぎて、かえって失敗を招く。13時15分野田市立七光台小学校を通過後、  
道に迷うことになる。蕃昌という地名を見、地図を確認したところ、鉄道からかなり離  
れていることに気づき軌道修正する。この軌道修正が間違い、川間の方向に逆戻りする  
はめとなった。再度、七光台の地名になった。何時まで行っても野田線にぶるからなか  
った。また、太陽の方向からも変だと思い、クリーニング屋に駆け込む。思った通り、  
間違っていた。1時間ロスして、軌道修正ができた。



※清水公園駅、愛宕駅

14時10分、県立野田高校を通過する。14時25分、野田線の踏切を見て安堵した。  
でも、残念ながら、車庫を備えた七光台駅はカメラに収めることができなかった。加え、  
本日の目玉と思われる、清水公園駅がある。柳沢の地名を見て通り過ぎたと思った。結  
局、昼食後の皮切りは15時10分の愛宕（あたご）駅であった。学校法人野田鎌田学  
園では、「躍進祭」という名称の文化祭が行なわれていた。目と鼻の先の県立野田高校  
があった。



※野田市駅、梅郷駅



野田市駅には 15 時 25 分到着。駅名に市が付くのは、私のこれまで踏破した駅にはない。駅前には、バスの車庫があるわりには、賑やかさを感じなかった。この近郊で明日の衆議院議員候補の選挙演説カーとすれちがう。住宅街を通り、16 時 25 分梅郷駅に到着する。今日は、当初の目標の歩きはできなかったが、小春日和の中、春日部の「春」と梅郷の「梅」でまとめられ、満足している。帰りは北千住経由で家路に向かう。自宅には、19 時 10 分到着。本日の成果は、営業距離で 15.7Km、万歩計で 55,458 歩となった。今日のコースは、自分をミステリーゾーンに投入でき一日を堪能することができた。JR 線と違いで感じたのは、電車の数が多い、駅の案内板がない、トイレが駅内である、踏切名がないである。

## 第 4 節 新鎌ヶ谷～船橋

### <北総線> ご参考

第 135 回目のウォーキングは、2004 年 11 月 27 日(土)快晴の中、これまで中途半端となっていた北総線（印旛日本医大～千葉ニュータウン中央）8.5Km と東武野田線（新鎌ヶ谷～船橋）9.4Km に挑戦する。朝のセブンの散歩を任せ、6 時 30 分の電車にて印旛日本医大に向かう。千葉ニュータウンまではいつもの通勤経路と同じである。時間をよく調べていなかった関係で都営浅草橋駅にて 20 分ロスする。8 時 1 分の印旛日本医大行きに乗り終点まで行く。9 時少し前に到着。少し風はあったが、雲ひとつない日本晴れであった。

印旛日本医大駅前で 4 枚、種々の角度から撮る。駅は丸いとつくり形の屋根ととんがり帽子のような屋根のある建物で、結構贅沢の造りをしていた。駅前では医大行きのバスが乗客を待っていた。駅前には 200m 四方位の空き地があった。雑草は生えていなかったのが常時手入れをしていると思われる。線路の右側から印西牧の原駅に向かおうとしたが、道がなく空き地を回り線路をまたがる橋を渡り、国道 464 号に出る。本日は 4 年前の北総線踏破の際と異なり、鉄道の左側で終始千葉ニュータウン中央駅まで向かう。本埜村角田という地名で日本医大に向かう救急車（9 時 15 分）と対面する。国道 464 号の左側は樹木を挟んで北総線の車庫が 3Km 位続いていた。竜腹寺の交差点まで車庫であった。この交差点から印西牧の原駅に続く車庫の線路が頭上を走っていた。鉄道の向こうにはマブチモーター（株）技術センターがあった。

印西市草深という地名にさしかかった時（9 時 52 分）、季節はずれの 30 から 40cm に成長したタンポポを見かける。また、枯れかけたススキもあった。更に、高校の先輩である片岡さんから名簿の件で携帯にて問い合わせがある。印西牧の原駅には 10 時 5

分到着。駅の造りは次の千葉ニュータウン中央駅と同じであった。印西牧の原駅から千葉ニュータウン中央駅までの光景は、高砂から千葉ニュータウン中央までと対照的に店舗や住宅が結構多く開発されていた。また、人の気配を感じる町並みであった。その一例として、カワチ（日用品・薬・食料品）、サンキ（服）、スポーツ DEPO が通りにあった。線路の向こう側にはジョイフルホンダがあった。11 時 5 分北総線船尾変電所を通過。印西牧の原方面から赤色のジャスコとごみ焼却場の煙突が遠めに見えた。464 号から千葉ニュータウン中央の町並みも結構素晴らしく見えた。こすも寸大橋から見るアルカサールの建物は、構造がユニークであり、また黄色の太陽マークスマイル人形の図柄も印象的であり、この建物の魅力を再認識した。私が現在通勤の下車駅である千葉ニュータウン中央駅には 11 時 12 分に到着（万歩計 21,130 歩）。ここでも 11 時 11 分の電車で少しの差で乗り遅れる。11 時 31 分まで待つ。

### <新鎌ヶ谷～船橋>

新鎌ヶ谷(11:50)～鎌ヶ谷(12:45)～馬込沢(13:32)～塚田(14:10)～  
新船橋(14:35)～船橋(15:00)



※新鎌ヶ谷駅、鎌ヶ谷駅

11 時 31 分の北総線で新鎌ヶ谷駅に向かう。この駅から船橋駅まで、第 15 回わいわい会で歩く予定であったが、事情で残ったため本日達成を図る。この駅には 11 時 50 分到着。この駅は北総線・東武野田線その他、新京成線が交わりホームは複雑になっていた。駅前のジャスコで 12 時前であったため、この 2 階の丸亀製麺という店で讃岐うどんを頬張る。味は神楽坂にある讃岐うどんより美味かったような気がする。12 時 20 分から東武野田線の挑戦となる。駅前には鎌ヶ谷市役所があった。新鎌ヶ谷駅から 1 km 位東武野田線と新京成線がほぼ平行に走る。その間の道路を歩く。この道は船橋方面に続いていた。途中から道路に沿って高架化された野田線が続く。鎌ヶ谷駅の途中、日本生命・第一生命・イトーヨーカドーの店舗があった。NHK 杯全国中学校放送コンテス

ト全国大会出場の祝いの垂れ幕のある鎌ヶ谷中学校もあった。



※馬込駅、塚田駅

高架駅である鎌ヶ谷駅には 12 時 45 分に到達。駅から少し行った先に千歳船橋駅前と同じ名称の長寿庵という蕎麦屋があった。20 分位歩き、そろそろ馬込沢駅と思い、右側に方向転換する。少し早かったが、いいタイミングでの方向転換であった。その関係で踏み切りを渡る。ここからは鉄道の右側を歩くこととなる。サミットが駅前にある馬込沢駅（西口）には 13 時 32 分到着。少し行った先に熱田神社（13 時 47 分）がある。キャベツ畑と人参畑を通り、通り過ぎしそうになった塚田駅に 14 時 10 分に着く。



※新船橋駅、船橋駅

新船橋駅には 14 時 35 分だった。道路の頭上から高架化された鉄道が左側から右側となる。馬込沢・塚田・新船橋の駅看板は東武鉄道のトレードマークの緑と紫で構成されていた。何回見てもこの図柄は好感がもてない。近い将来刷新を期待したい。その先に船橋駅があった。女性のバス運転手が市内バスを運転していた。ここでも少子高齢化の原因の一面とも考えられる女性の社会進出を見た。15 時に着く。今日は順調に歩くことができた。15 時 13 分の快速で家路に向かう。自宅には 17 時 25 分に着く。本日の営業距離は 17.9Km、万歩計は 45,816 歩だった。本日は未案件が 2 個片付き、充実した一日であった。

## 第5節 柏～新鎌ヶ谷

2022年8月19日（金）晴れ、東武アーバンパークライン（東武野田線）の大宮駅から新鎌ヶ谷駅まで営業キロ（53.3 km）は、“歩き鉄”と“乗り鉄”の併用にてリベンジする。

10.2 km：柏（14:58）～新柏（16:13）～増尾（16:35）～逆井（16:58）～高柳（17:40）～六実（18:08）～新鎌ヶ谷（18:38）



※柏駅、新柏駅、増尾駅



※逆井駅、高柳駅、六実駅



※新鎌ヶ谷駅、船橋駅